

①換気をする

四季をとわず、朝は空気の入替えをすることから始まり、天候や居室リビング内の環境に常に気を配りながらこまめな換気をしています。また感染対策にもなります。



②椅子に座る

お年寄りの体にあった椅子とテーブルの高さを決める。座位下腿長と座高を測る。

●内履きの見直しをする。



③トイレに座る

入居者の排泄量や間隔など、個別のデータ取りをして情報収集する。

座位保持に注意する。FANレストテーブルを設置している。(手足の位置、座って踏ん張ることを意識する。)トイレの高さにもこだわっています。



④個浴に入る

生活リハビリの実践の場であり、フローアと連動した介助方法と工夫が必要。

浴室の問題点や課題は、その都度検証・実践・評価する。入浴介助の方法を統一することで安全・安心な入浴をする。入浴は自宅と同じように午後から入ります。



⑤座って会話をする

入居者を無視するような業務優先な「ケア」はしない。会話するときは、隣に座り目線を合わせる。☆大きな声で叫ばない・声のトーンに気を付ける。



⑥遊びリテーションを行う

毎月1回 ユニット合同レクリエーションの実施。手作り料理・手作りおやつを提供をしたり買い物や外食にでかける行事などを企画し行っております。



⑦ターミナルケアを行う

- ・家族面談の実施。(毎年11月～2月)
- ・入居時の看取りケアの有無の確認。
- ・看護師、嘱託医が24時間体制で管理することができている。

